

130109その他の医療保健業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	15~16	入浴の介助中、利用者の脱いだ靴を脱衣室の外に出そうとした際、入口付近が水で濡れており、足を滑らせ転倒した。その際、左手に靴を持っていたため、右手のみを床についた状態であった。右手首周囲に骨の変形を認め、骨折の疑いがあった。	49	2	416	30~49
2	2017	12	9~10	本館2Fおむつ交換室前フロアにて、清拭車を使用しようとしたところ、清拭車本体と台車がきちんとかみ合っておらず浮いている状態であったので、設置し直そうとしたところ、本体と台車の間に左手小指を挟まれた。	74	7	362	50~99
3	2017	12	19~20	トイレ誘導時、入居者（男性・56kg）の脇をはさみ抱きかかえ、立ち上がってもらう際に右腕に痛みがはしった。	48	19	921	50~99
4	2017	12	12~13	被災者は、原付バイクで住宅街の交差点を走行中、直進して交差点に進入した。一時停止しのため、一時減速した後、再び加速し、時速約20km程度で進入した所、進行方向右手から、自転車が一時停止をせずに進入してきた為、被災者のバイク右側面と相手方の自転車の前輪が接触し、路上で転倒し、ガードレールに左上半身から衝突し、左鎖骨の骨折に至った。	49	17	362	10~29
5	2017	12	10~11	午前の当番業務を終えて帰宅するため職場敷地内の駐車場に向かっていたところ、駐車場のコンクリートが凍っていたため足を滑らせた。その際、仰向けに転倒し、自力では動けなくなった為、娘に連絡をして病院へ連れていってもらい診察を受	58	2	417	1~9

				けたところ、右大腿骨頸部骨折と診断された。				
6	2017	11	9～ 10	特別養護老人ホーム内での介護業務中、トイレ介助時に、屈んだ際、左膝に痛みがはしった。その後、入力介助時に入居者の足を洗う際、再度左膝に痛みがはしった。痛みが止まらないので、後日、病院を受診した。左膝外側半月損傷（疑い）と診断を受けた。	32	19	921	50～ 99
7	2017	11	17～ 18	重度障害者のホームで支援業務中、利用者が玄関から外に飛び出し玄関横で寝そべったまま起き上がろうとしないので起こしてあげるために、同僚の支援員が上半身を持ち、被災者が足を持ち上げた時に、利用者が力を入れたのでその勢いで、被災者が体勢を崩してしまい利用者側に倒れ込んだ。すぐに湿布を貼り応急処置をして、その日は終了時刻まで仕事をした。その後痛みが治まらないため後日に受診した。	69	19	921	10～ 29
8	2017	11	14～ 15	会社の階段を下りている時に、1階の階段の下から2段目を踏み外し転倒した。	48	1	413	1～9
9	2017	11	8～9	お客様宅で食事介助を行う際に、椅子に座っているお客様に対し、スタッフ用の椅子はない為、テーブル横で立膝をついて、食事介助を行っていた。右膝に重心をかけた時に強い痛みが走り、その後、立位、歩行、屈伸等の動作を行うも激しい痛みがあった。右膝の曲げ伸ばしが出来ず、右足を引きずっての歩行になったので、当日にクリニックを受診した。	48	19	921	10～ 29
10	2017	11	7～8	駅の自転車置場から駅改札口へ向かう歩道がきちんと舗装されておらず、でこぼこになっていたため足がとられて右足が外側にガクッとひねり、剥離骨折した。通勤途中ではない。	55	2	417	1～9
11	2017	10	15～ 16	急きょ退所が決まった利用者が荷物を忘れて帰宅されたため、御家族様に連絡したところ、すぐに取りに来られた。急いで相談員室に荷物をとりに向かったが、あせって左足の踵に右足のつま先がひっかかり体勢を崩した。転倒を防ごうと咄嗟に	56	2	921	50～ 99

				右手を床についたが支えきれず転倒した。右手首外側に激しい痛みがあったため氷で冷やした。				
12	2017	10	10～ 11	高校にて健診従事中、立ち上がろうとした際、意識消失し頭からうつぶせの状態転倒した。（入院中）	49	2	921	100 ～ 299
13	2017	10	10～ 11	隔離室入室中の患者様の開放時間が到来したため隔離室前に行き、中で扉前で待っている患者様を目視し、扉を開きかけた時、内側より患者様が飛び出すように勢いよく扉を押され、右手を強くぶつけてしまい受傷した。重度知的障害の患者様であるため責任を問うことはできない。	25	6	911	100 ～ 299
14	2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んでしまった。そのため、職員5人で、この鉄板を元にもどした際に腰と股関節を痛めた。	55	19	521	10～ 29
15	2017	10	17～ 18	台風による強風で屋上の鉄板屋根（148cm×289cm）がずれて穴があいた状態になり、6階の機械室に雨が吹き込んだ。そのため、職員5人で、この鉄板を元に戻した際に激痛で動けない状態になった。	55	19	521	10～ 29
16	2017	10	15～ 16	訪問サービスでベッドメイキング時、慌ててしまい、転倒。右足薬指と小指にヒビが入った。	61	2	921	10～ 29
17	2017	10	13～ 14	当事者自転車にて走行中、交差点にて左折。左折直後、正面より車両がきており、正面衝突を避ける為に、自ら左側に転倒し受傷。車両との接触なし。なお、左折後の道幅が狭く、車両の左側をすり抜けることが出来なかった。	65	17	362	1～9
18	2017	9	12～ 13	当協会健診センターでの午前の健診が終了し、消毒済みの受診者用スリッパを両手に一足ずつ持ってスリッパロッカーに収納しようとする目線はロッカー上段をめがけて歩いていたら、足元に敷いてあるスイタ（120cm×45cm×5cm）に左足がつま	62	2	419	100 ～ 299

				ずき転倒し、脇腹・骨盤、特に左肘を強打した。				
19	2017	9	13～ 14	当施設の駐車場に向かおうとした際、当施設の入っているマンシヨンの1階通路が雨で床が濡れており、誤って滑り、頸部を挫傷したもの。	47	2	417	100 ～ 299
20	2017	9	8～9	2階より1階へ下りる際、踊り場に居た利用者に挨拶をしながら降りていると、気を取られ階段を踏み外し転倒。徐々に腫れ、痛みが酷くなった。	52	1	413	10～ 29
21	2017	9	9～ 10	当院同スタッフと共に2人で出席する際に向かっている、駅を出て会場近くの階段でつまずき転倒してしまい、コンクリート上の床面に左足の膝を打ち付けてしまい負傷した。	35	2	413	1～9
22	2017	8	9～ 10	当院駐車場で散水の準備中、ホースに足が引っ掛かり受傷した。	49	2	417	1～9
23	2017	8	15～ 16	営繕の作業場にて、故障したプリンターを修理中、誤ってプリンターのコードに躓き、背中から転倒し、腰を強打し負傷した。（第1腰椎圧迫骨折）	41	2	417	100 ～ 299
24	2017	8	12～ 13	会社に帰る途中、フットブレーキを踏み過ぎ、ブレーキが効かなくなり、動いている検診車から飛び降りた。降りたときに検診車と接触し、右足首・左脚・左腕を骨折した。	44	17	239	100 ～ 299
25	2017	8	8～9	事業所内で、高さ約50～60cmの折り畳み椅子にのって、棚の上にあるセロハンテープを取ろうとしたときに足を踏み外し、勢いよく床に着地し、腰がグキツとなり負傷した。	30	1	379	1～9
26	2017	8	16～ 17	1病棟保健室に入室している患者が失禁したので、床に敷かれた布団のリネンを交換するため左膝を立て、しゃがんで作業をしていたところ、着替え終わった患者が布団に横たわろうとしたのか、左膝にのしかかってきて、左足首に負荷がかかり負傷した。	55	99	999	100 ～ 299
				業務が終了し、帰宅のため東側階段を降りていたところ、足を				100

27	2017	8	17~ 18	踏み外した拍子に転倒し、落下した際に臀部を強打し負傷した。	24	1	413	~ 299
28	2017	7	16~17	デイケアを利用されている方を自宅へ夕方送って行く。立位困難の方で常時車椅子を利用している。自室へお連れし、ベッドの右側に車椅子をつけ、両腕で抱きかかえてベッドに上げる。その時背中を軽くひねった。すぐには痛みはなかったが後日動くのが厳しい状況になった。	70	19	911	100 ~ 299
29	2017	7	16~17	利用者さんをマンションに送り届けた後、マンションから駐車場に降りる際、段差（2段）の1段目を踏み外して左足を捻り負傷した。	50	19	413	10~ 29
30	2017	7	11~12	訪問介護で一件目の訪問を終え次の利用者宅へ行く途中に発生。電動自転車で走行中雨天にて雨具装着にて視界が狭かった。車道に向かって脇道より出ようとする手前にて前方から走って来た、20代男性の乗るスポーツタイプ自転車と正面衝突した。右側に自転車と共に倒れ頭部打撲裂傷出血あり、右側腹部を強打した。激痛のため動けず管理者に連絡があった。検査、治療を受けた。	48	17	239	30~ 49
31	2017	7	14~15	訪問先の駐車場で診療道具を片付け、ドアを閉める際に、自身の頭にドアをぶつけてしまった。	49	6	231	1~9
32	2017	6	5~6	施設内において、モップで拭き掃除をしており、床が濡れていた為、足を滑らせて転倒し、左腕を骨折した。	68	2	416	10~ 29
33	2017	6	12~ 13	駐車場で薬局へ移動中、駐車場のタイヤ止めに足を引っ掛け転倒した。転倒時に左手をつき、左手中骨を骨折した。	53	2	418	10~ 29
34	2017	6	18~ 19	利用者用食堂の入口で、利用者を誘導中に、後ろを横切った利用者が転倒しそうになったので、後手で支えようとしたが支え切れず、腰を捻ってしまった。	39	19	911	100 ~ 299
				自転車で出勤し、診療所ビルの裏口にある駐輪場に自転車を停				

35	2017	6	14～ 15	め、診療所に向かおうと、両手に荷物を持ち、道路に出ようとしたところ、段差に気付かずに転んで負傷した。	58	2	417	1～9
36	2017	6	15～ 16	個人宅への訪問看護に自転車で向かっている途中、急な下り坂でスピードが出てしまい転倒し、負傷した。	39	2	362	1～9
37	2017	6	15～ 16	執務中に事務室内を移動していたところ、机の脇に置いてあったダンボールに躓き、転倒した。転倒した際、手をつくことが出来ず、床に膝を強く打った。	56	2	417	10～ 29
38	2017	5	17～ 18	下膳をしている時に、右側にずれようと右足を出した時に右足に電気が走るような痛みを感じた。早退したが痛みが酷くなり、右膝内側半月板断裂および右膝窩筋損傷だと判明した。	63	19	921	50～ 99
39	2017	5	17～ 18	整骨院において患者の臀部分を施術中、左腕の肘を用いて患部に体重をのせた際に左肩に電気が走った様な強い痛みを感じた。	22	19	911	50～ 99
40	2017	5	8～9	通勤中に医院の玄関先で滑り、転んでしまった。	50	2	417	1～9
41	2017	5	7～8	出張健診先に到着して、健診車を駐車後降車しようとした。運転席にシートやシフトペダル、ハンドル等があり狭く、動きづらい状態であった。その中で降車しようとしたが左足首が引っ掛かり抜けなかった。抜いて降りようとしたところ、体勢を崩してしまい運転席から転落した。転落した際、左足から着地したことにより足首を捻り、骨折した。	61	1	231	300 ～ 499
42	2017	5	10～ 11	クリニック受付カウンターにおいてお客様対応業務中、イスに座ろうとしたが、キャスター付のイスが後ろにずれていて、腰を下ろした位置に椅子が無く、転倒し、コンクリートの床に左手を強くつき、手首を骨折した。そのとき壁に頭が当たり、頭痛・吐き気・ふらつきがあり、一時的に自力での歩行が困難となった。	56	2	391	1～9
				患者様の歯のクリーニングの補助のため、バキュームを持って				

51	2017	3	14~15	利用者の送迎時に転倒した。	52	2	418	10~ 29
52	2017	3	10~11	訪問ヘルパーとして、利用者宅から次の利用者宅へ自転車で移動中、植え込みの砂地にタイヤがはまってスリップし、右に倒れ、右ハンドルに右胸を強打した。	58	2	417	10~ 29
53	2017	3	16~17	事業場の所在地において介護職員として勤務を始め、利用者を車いすやベッドから移乗させる作業を1日平均10回程度行っていたところ、強い痛みを感じはじめた。	25	19	921	50~ 99
54	2017	3	9~10	当社の業務請負先である5F病室で工作中、廊下にある作業用のカートに行こうとして廊下に出た際、足が突っかかり前に倒れ込み、左手肘を骨折した。	51	2	417	10~ 29
55	2017	3	9~10	事務所に届いた30箱の重い荷物を、事務所前道路に止めてある配送車から事務所まで複数名で運び入れた。床から持ち上げ自分の机の上に置こうとしたとき、重いので振り子のように勢いをつけて右から左へ荷物を持ち上げて置いた際、左の腰を捻り、左腰上部に筋肉痛のような痛みを感じた。腰に痛みが発生し（腰に熱を持ったような感じ）、右手のしびれや発汗もあり、お辞儀や身体を捻じることができなかった。帰宅後、歩行困難で階段の昇降ができなくなり、痛みも激しくなり救急搬送された。	46	19	611	50~ 99
56	2017	3	12~13	食事介助中、利用者の隣の椅子に座り介助をしながら、自身も食事を取っていた。椅子から立ち上がって介助し、座ろうとした際、隣に来たヘルプの職員が椅子を移動させていたため後ろを確認せずに座ったところ、座り損ねて転倒した。転倒時、テーブルの角に後頭部、床に腰部・臀部を強打し受傷した。	48	2	379	—
57	2017	3	10~11	機材のある部屋に移動中、会社の外階段にてつまずき、顔面を強打し流血した。	61	2	413	1~9

58	2017	2	13~14	2階ナースステーション内休憩室で師長と一緒に休憩をしていたところ、他の職員が休憩室に入るためドアを開けようとした途端、ドアが外れ左側頭部に当たった。	45	6	418	50~ 99
59	2017	2	11~12	訪問マッサージ業務中、お客様の所から、次の訪問先への移動中、ドライバーが運転する車が他の走行中の車とぶつかりそうになった為、左へハンドルをきり、急ブレーキを掛けた。その時、被災者は後部座席にて、横になっており、急ブレーキによって、前座席と後部座席の間に転がる形になり、体を打ってしまった。	43	3	231	1~9
60	2017	2	8~9	巡回健診先の2階休憩室にて、健診準備をしていたところ現場のフローリングの床半分に畳が敷いてあり、10cm程の段差で滑り、臀部から転倒してしまった。転倒の際、左腕をつき圧迫してしまった為、強い痛みがあり、病院を受診したところ骨折と診断され緊急手術のため、入院となった。	52	2	417	50~ 99
61	2017	2	14~15	歯科医院内階段にて、治療に必要な物品を3階から1階に持って階段で下りる際、2階付近で転倒し負傷した。	22	2	413	30~ 49
62	2017	2	8~9	敷地内駐車場に車を止め、建物に向かい歩いているところ、雪の上で滑り転倒し背骨の骨が圧迫された。	63	2	719	—
63	2017	1	20~ 21	仕事場で重い荷物を運んでいる時に、廊下で重い荷物（お湯の入った足湯用の桶）につまずいてしまい、尻から着地し、持っていた桶が右側の肋骨を強打した。	44	2	611	—
64	2017	1	11~ 12	当院エレベーター前にて、昼食準備のため、2名で、配膳車2台を受け取り、1人1台で運び、エレベーター扉前で2台連なって待機していた。本人は後方配膳車の前側に立ち、他職員は前方配膳車の前側に立つ。扉が開くと他部署職員と台車が乗っていたので、出してもらうスペースを確保する為に、前にいた他職員が声をかけずに配膳車を後方へ押したところ、2台の配膳車に挟まれそうになった当職員は、とっさに両方の配膳車	51	19	611	50~ 99

				を手で押したが、自分の配膳車を握っていた左手に激痛がはしり、骨折した。				
65	2017	1	7～8	技工室のドアを開けようとした時、ほうきが倒れていたため足が引っ掛かり、前方に倒れて左肩・両ひざを強打した。	60	2	379	—
66	2017	1	13～14	医療モール2階にある顧客へ検体回収後の下り階段で、階段を踏み外し転倒した。その際、検体を入れた集配BOXを持っており、BOX内の検体に影響がないようにした為に、無理な体勢で足を着き、左足を負傷した。	38	1	413	—
67	2017	1	12～13	上にある荷物を下ろそうとしたときに、お湯の入った容器が両足にかかり、両足趾を火傷した。	24	11	611	10～29
68	2017	1	10～11	院内内で使用済みのメスを片付ける作業中、持針器を使ってメスを取り外す際、滑って右手親指を切った。	29	8	379	—
69	2017	1	6～7	ご利用者様の居室にて起床介助をしていた際に、ご利用者様が動かれ転倒されそうになったのを支えた結果、腰に激痛がはしり負傷した。	60	19	911	10～29
70	2016	12	17～18	事業所内にて階段を下りていたところ、下の方で段を踏み外し、床に倒れた。その際に足を捻った。	49	1	413	1～9
71	2016	12	8～9	通所リハビリの利用者をワゴン車で送迎に行き、車椅子の利用者なので、車のバックドアを開けてリフトを少し下げたところ、シートベルトが引っ掛かっていたので外そうと中へ乗り込んだ。ベルトを外して出ようとしたら、足の踏み場がなく、そのまま地面へ落下した。その際、左側頭部を強打し、首の頸椎を捻挫した。	56	1	231	—
72	2016	12	16～17	利用者宅である団地の前の路上で、送迎者添乗業務中に、助手席後の補助席に座っていた被災者が、後部扉を開け降車した。次に助手席に座っている利用者が降車するための足台を車内から出し、設置した後に後部扉を閉める際、助手席の利用者に視	51	7	231	50～99

88	2016	10	10～ 11	1件目の訪問看護を実施し徒歩で事務所にもどり、2件目の訪問看護のため自転車を駐輪場に取りに行こうとした。その際、道路と駐車場の段差解消の鉄板が雨でぬれており、足をすべらせ転倒し、左上肢をついて受傷した。	49	2	417	10～ 29
89	2016	10	11～ 12	施設内の静養室において利用者に車イスからベッドへ移乗してもらうため、前方から抱えて介助した際にバランスを崩し、そのまま左へ倒れ、崩れるように後方の床へ倒れ込んだ。その際に腰椎を負傷した。	36	19	921	10～ 29
90	2016	9	8～9	入浴介助作業中に洗い場から浴槽に移動しようと介助用の手すりにつかまり湯船の中の段差に足を降ろしたところ、ぬめりがあった為にすべり左足第4指をひねった。	48	19	416	50～ 99
91	2016	9	12～ 13	入居者居室内トイレに於いて、入居者の排泄見守り作業の時、当該入居者が転倒しそうになったので、抱きかかえて支えたところ、一緒に倒れ、その際に負傷した。	25	2	921	10～ 29
92	2016	9	5～6	4Fフロアで夜間見守り中、ナースコールと呼び声に急いで駆け付けたが、床がお茶をまかれていて滑って転倒し右足を捻り、その足を下敷きにするように仰向けに倒れた。	59	2	417	50～ 99
93	2016	9	12～ 13	帰宅する際に下駄箱で靴を履きかえていた際、下駄箱に立てかけてあった台車が倒れ、両足に接触し負傷した。	38	5	362	100 ～ 299
94	2016	9	12～ 13	1件目の訪問看護先から2件目の看護先への移動中、台風で雨が降っており足元が悪く傘は持っていたが、雨で足がすべって転倒し、左足を負傷した。	68	2	921	1～9
95	2016	8	13～ 14	患者の居室で入浴準備の為、ベッド上臥床中の男性患者をベッドからストレッチャーへ移乗する際、患者の上半身を持ち上げた瞬間に腰の激痛が発生した。	39	19	911	300 ～ 499
				駐車場で乗って来た自転車を駐輪しようとブレーキをかけた				100

96	2016	8	7～8	ところ急ブレーキがかかったようになり右側へ転倒、右手をつき手首を骨折した。	66	2	362	～ 299
97	2016	8	12～ 13	診療終了後、時間内においてスタッフ間で片付けを行っている時に、左側顔面に薬液がかかった。	46	12	519	1～9
98	2016	8	10～ 11	車いすの患者を診察室に誘導する時に、診察室入口の階段にて患者が乗ったままの車いすで段差にかかり、持ち上げる時に腰がギシッと音がしてから、体を動かすと腰に痛みが発生し痛めた。	63	19	921	10～ 29
99	2016	8	11～ 12	県道を車で走行中、交差点を右折しようとして右折レーンに入り、前に2台停車していたため、停車して右折を待っていた。そこに加害者の車が後ろから追突し、受傷した。	55	17	231	50～ 99
100	2016	7	17～ 18	ウッドデッキで夕方頃プランターに水かけをしていて、急にウッドデッキ下に落下した。	39	9	416	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。